

結婚と家庭

MARRIAGE

AND THE

FAMILY

A.J.ヒギンズ著
(医学博士M.D.)



伝道出版社

結婚と家庭

MARRIAGE
AND THE
FAMILY

A.J.ヒギンズ著
(医学博士M.D.)

MARRIAGE
and the
FAMILY

by

A. J. HIGGINS M.D.

Published by
GOSPEL TRACT PUBLICATIONS
411 Hillington Road, Glasgow G52 4BL

目次

はじめに

5

第一章 結婚への基礎

8

- 今日における問題点 9 何を優先すべきかを知る 11 交際の目的 13
聖書の中の型を検討すること 14 求められる聖潔 20

第二章 結婚の本来の姿

22

- 族長時代の型 2 アダムとエバ 「離れること」と「結び合うこと」 24
アブラハムとサラ 家長の地位 29 イサクとリベカ 愛 30
ヤコブとラケル 愛によるリーダーシップ 33

第三章 使徒たちの教え

35

- 結婚生活の原則 36 結婚が描写するもの 43 模範的な結婚生活 45
結婚に求められる聖潔 46

第四章 まず初めにすべきこと

- 結婚における優先順位 51 果たすべき責任 53 エロス 結婚における情熱 54
ストルゲ いくしむ愛 56 フィレオ 結婚における友情 57
アガペー 結婚を織りなすもの 59 結婚生活における親密さ 60

第五章 悲嘆にくれた家庭（上）

- ナバルとアビガイル 65 リベカとイサク 72

第六章 悲嘆にくれた家庭（下）

- ヤコブとラケル 75 モーセとチツポラ 79
ヨブとその妻&ハンナとエルカナ 81 アブラムとサライ 82
ダビデとミカル 83 ホセアとゴメル 85

第七章 ルカが描く家庭生活

- ザカリヤとエリサベツ 89 ヨセフとマリヤ 91 ブリスキラとアクラ 92
主イエスの両親&ルカの福音書一五章の父親 93

第八章	独身でいること								
	献身生活の原則	106		神の事柄を優先すること	109		主に導かれた人生	111	
第九章	墮胎について								118
第十章	ソロモンの秘訣								131
	しつけの必要性	134		しつけの本質	137		しつけに要求される迅速性	141	
	しつけを怠ると?	143							
第十一章	父親たちの失敗								144
	エリメレク	引き継がれた悪い模範	146	エリ	放任とその結果	148			
	サムエル	一貫性のなさ	149	エッサイ	子どもへの信頼の欠如	150			
	サウル	身勝手の負債	152	ダビデ	謙遜を学ぶ	155			
第十二章	親として優先すべきこと(上)								159
	子どもたちの前での生活	160		子どもを指導すること	162		残すべき遺産	164	

第十三章 親として優先すべきこと（下）

巣立ち 169

はじめに

「結婚と家庭」は“Truth and Tidings”誌の主要記事として十三か月にわたり掲載されました。この論説が発表されている間、これらを半永久的な形で残すべきだとの要望が私たちに何百となく寄せられ、その要望は今も続いています。この小誌を手掛けた十年間のうちで、これほどの反響を見たものはほかにありません。この本はその要望の結果なのです。

この題材の価値は、おのずから明らかでしょう。ヒギンズ氏は開業医として実際の臨床医療に携わっておられ、家庭と家族に関する様々な質問に日々答えておられます。同氏は、すぐれた訓練を受け、豊かな経験を備えておられますが、この書で教えられている真理は、聖書からのみ導き出されたものです。この書の全体を通じて、私たちが深く印象づけられることは、ヒギンズ氏が心理学的なアプローチ（すなわち、人間の学問にわずかなみことばを付け加えてクリスチャン向けに「味付け」したようなもの）に訴えていないということです。ここで教えられている真理は、聖書の注解とも言えるものです。そして、それらは神のみことばの解釈と完全に調和した実際の適用を含

んでいます。これらの各章が、“Truth and Tidings”誌より、さらに広い読者を獲得することを私たちは確信しています。

私たちはこの機会を通して、親愛なる友人であり兄弟であるサンデー（著者アレクサンダーの愛称）・ヒギンズ氏に感謝の意を表したいと思います。私たちは、主のお働きのためにさざげられた氏の時間や労苦といった多くの犠牲を覚えます。また、ルース夫人とお二人のお嬢様にも、大きな感謝の念を覚えるものであります。というのも、夫であり父であられる氏との時間を、多くの読者の祝福のために惜しまず分け与えてくださったからです。

私たちはこの書を、結婚を考えておられるクリスチャンのカップルのためのすぐれた入門書として心からお勧めします。また、ここでの教えは、若い親たちにとっても、最も価値ある道しるべとなるでしょう。というのも若い親たちは、二十一世紀も目前の今日にあって、家庭を築くという厳粛な責任に直面しているからです。さらにまた、この書を補習講座として、長く結婚生活を営んでいる方々にお勧めします。この書によってお互いを真実に思いやる意味を知り、それによって結婚生活がより満たされ、より豊かになり、神の栄光と人々への祝福のために生きることができるよう。一つの章は、結婚していない信者のために書かれています。多くの人々への祝福がすでに実証されています。

この本が送り出される度に、私たちの祈りがともなっています。神が豊かにその労を祝福してく

ださり、この書物によって多くの人生が豊かにされますように。「キリストのことばを、あなたがたのうち豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え……」(コロサイ三・16)。

一九八八年三月

ノーマン・クロフォード